

さんふらわあ

梅雨も明けて本格的な夏が始まり、連日厳しい暑さが続いています。熱中症など子どもたちの健康が心配されますが、教育相談に来てくれるお友達は元気いっぱい遊んだり勉強したりしています。今回はそんな相談の様子をご紹介します。



相談の様子

★Aちゃん（0歳9か月）

今年度から新規で相談に来てくれている双子のAちゃん。毎回ママが大きな荷物と二人を連れて通ってきてくれます。Aちゃんの見え方はまだ病院でも経過観察中で、ひまわり教室では遊びの中でAちゃんがどんなふうに目を使っているか確かめながら、ママと育児や支援制度のことなどについてお話をしています。

色のはっきりしたおもちゃを見せたり縞のうちわで風遊びをしたりしていますが、最近縞のうちわを眼前に示すと視線を向けてくれるようになりました。足元に起き上がりこぼしやおもちゃを置いて、周囲にはいろいろなものがあることも伝えています。Aちゃんは起き上がりこぼしを元気よく蹴って遊び、最近では両足で蹴ったり挟んだりしていろいろな動きを見せてくれています。



★Bちゃん（1歳9か月）

0歳から相談に来ているBちゃん。見えない分とても慎重に周囲の様子を感じ取って行動します。最近、玄関からひまわり教室まで手をつないで一緒に歩くようになってきました。点字ブロックのボコボコが気に入って見つけるたびにその場で足踏みしたり、金属のドアの敷居があるとひんやり感を足裏で感じてしばらくとどまったりして感触を楽しんでいます。少し離れたところからひまわり教室入口の鈴を鳴らすと、ずっと壁をつたって自分で鈴を見つけて鳴らします。音に向かって歩くこと、壁をたどること、足裏の感覚を磨いて変化に気づくことは、将来一人で歩くための大事な力です。ママはお庭の柵の両端に音の違う鈴をつけて、Bちゃんが一人で柵をたどって遊べるようにしたそうです。ご家庭のいろいろな工夫や努力があってBちゃんがこうして力をつけていくのだなあと感じます。



★C ちゃん（6 歳 3 か月）

2 歳前にこども病院からの紹介で相談に来ている C ちゃん。毎回初めに教育的観点からの視力測定をしてから、お勉強をしたり遊んだりしています。幼児の視力測定は、その日の体調や天気などに左右されやすいので、定期的に測ることでその子の目の様子や見え方もわかってきます。“お勉強”では、絵をよく見て答えたり線をきれいに書いたりするほか、はさみなどの道具の扱い方や粘土遊びなど手先を使った活動をしています。また、年長さんなので就学に向けた相談も行い、C ちゃんにとってよりよい学びの場について保護者の方と一緒に考えています。必要に応じて C ちゃんの園に出向いて、見えにくさに対する支援や今後の方針などについて共に考えていきたいと思っています。



本校ではこのような相談活動の中で、お子さんの成長を共に見守り、その時期に合わせた心配事や困りごとについて一緒に考えています。小学生や中学生になっても継続して関わることで、必要な時に必要な支援ができるよう心がけています。

本校のオリジナルキャラクター「しーちゃん」です！



♪ インフォメーション ♪

★〈あなたの町にセンターがお邪魔します〉出前センター in 長泉

日時 7月26日（日）10：00～16：00

（体験・相談会 10:30～12:15 13:30～16:00）

会場 コミュニティながいずみ 2階展示室 西コーナー1・2

主催 静岡県視覚障害者情報支援センター

内容 各種相談、拡大読書器・便利グッズ・スマホ体験など

＊静岡市にある支援センターの職員に外出や歩行、補装具・日常生活用具申請、日常生活での困りごとなどについて直接相談できるよい機会です。

★ビジョンサポート機器展 in 浜松

日時 8月30日（日）10：30～15：00

会場 浜松市福祉交流センター 4・5 階

主催 静岡県視覚障害者福祉推進協議会（静視協）

内容 機器展コーナー（光学補助具、音声機器、用具・便利グッズ等 30 ブース以上）

相談コーナー（教育・福祉・医療） 盲導犬・ヨガ・マッサージ体験

＊昨年度、沼津で行われたビジョンサポート機器展が今年度は浜松で行われます。遠方ですが、多くの関連機器が直接見られるよい機会です。